

平成28年度国立大学法人琉球大学入札監視委員会定例会議議事概要

開催日時及び場所	平成28年11月1日(火) 16:00～ 琉球大学50周年記念館 1階 多目的室	
委員	委員長 仲地 健(沖縄国際大学産業情報学部 教授) 委員 鈴木 啓子(鈴木啓子税理士事務所) 委員 田里 友治(田里公認会計士事務所)	
審議対象期間	平成27年10月1日～平成28年9月30日	
抽出案件(合計)	5 件	<p>(備考) 国立大学法人琉球大学入札監視委員会設置要項にのっとり、互選により仲地委員が委員長に選出された。</p> <p>抽出案件の個別審議については、【審議資料】に基づき、各発注担当課長から工事概要説明を行い、施設総務係長より契約手続概要説明を行い、質問等への回答を行った。</p>
工事(小計)	5 件	
一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事)	0 件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	5 件	
工事希望型競争入札	0 件	
通常指名競争入札	0 件	
随意契約	0 件	
設計・コンサルティング業務	0 件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

質問	回答
<p><b>1. 建設工事に関する入札・契約手続の運用状況等の報告について【報告事項】</b> (事務局より説明)</p> <p>・特になし</p> <p><b>2. 設計・コンサルティング業務に関する入札・契約手続の運用状況等の報告について【報告事項】</b> (事務局より説明)</p> <p>・特になし</p> <p><b>3. 指名停止等の措置状況について【報告事項】</b> (事務局より説明)</p> <p>・特になし</p> <p><b>4. 建設工事における抽出案件の審議</b></p> <p><b>【(千原)基幹・環境整備(設備機械室棟改修機械設備)工事】</b> (事務局より概要説明)</p> <p>・参加業者が1者しかいなかったのには、何か理由があるか。</p> <p>・今後、工事を発注する時期は可能な限り、前倒しにしないといけません。</p> <p>・総合評価落札方式の評価結果表で、工事施工実績が2点で、工事成績が0点なのはなぜか。</p> <p>・評価結果表でコンプライアンスが0点なのは、不誠実な行為がありということか。</p> <p>・1回目の入札の時点で、業者は1者入札だとわかるのか。</p> <p>・では、不調になった可能性もあるのか。</p> <p>・同じ日のうちに電子入札でやるのか。</p> <p>・要件を満たす業者だけしか入札に参加できないのか。</p>	<p>・当時は県内の工事受注及び職人の県外流出が多かったため、人手不足だったと分析しています。昨日発行(平成28年10月31日付)の沖縄建設新聞に「平成27年度の完工総額が過去最高記録」という記事があり、建設業界の景気が良かったことの参考になると思います。 また、補助金事業のため、事業の着手及び設計開始が4月、設計完了後の12月に工事の公告と発注時期が遅くなりました。 時期的に第1四半期に公告すれば、多数の応募があったと思いますが、第3四半期の12月では応募が少なくなりがちです。また、建設業界の景気が良かったため、配置予定技術者が不足していたことも原因と想定されます。</p> <p>・はい。</p> <p>・工事成績の平均が70点のため、「加点なし」で0点になります。 なお、工事成績は標準で65点です。60点を下回ると入札に参加できなくなります。75点以上が加点の対象です。</p> <p>・不誠実な行為はありません。この事項は加点ではなく、減点評価です。指名停止があると、2点減点になります。</p> <p>・電子入札システムで手続きしているため、わからないようになっています。</p> <p>・はい。</p> <p>・はい。入札公告では、30分を基準に入札を行う旨を記載しています。</p> <p>・はい。</p>

質問	回答
<p>【(千原)教育学部大学院研究室改修工事】 (事務局より概要説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・落札率が高いのは何故か。</li> <li>・予定価格が推定しやすいと考えると、3位の業者の金額は落札価格の1.5倍近いが、これは業者が適当に入札したということか。</li> <li>・時期もあるかと思うが、先ほどの案件でA・B等級だと1者しかこなかったが、等級が下がると入札参加者は増えるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たまたま高かったとしか言えません。小規模で一般的な内装工事のため、工事費の想定が比較的容易であったと分析しています。</li> <li>・あくまでも想定ですが、本気で落札しようとする業者もいれば、受注意欲があまり感じられない業者もいます。1.5倍というのは、後者の応札をしている印象です。 また、落札業者は同時期に本学の別工事を受注しているため、新規工事に入るよりも経費等が安くなるため、受注意欲が高かったと分析しています。</li> <li>・これは一概に言えません。</li> </ul>
<p>【(千原)基幹・環境整備(特高受変電設備等)工事】 (事務局より概要説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・落札した業者の施工実績が千葉大学を出しているが、本社は東京なのか。沖縄に支店があるのか。</li> <li>・全国各大学に実績があるのですね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい。本社は東京で、那覇市に沖縄支社があります。</li> <li>・はい。</li> </ul>
<p>【(千原)基幹・環境整備(総合情報処理センター受変電設備改修)工事】 (事務局より概要説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低入札で落札率が低く、他の業者の入札価格と大分差があるが、業者のヒアリングは行っているのか。</li> <li>・ヒアリングをする条件はあるのか。</li> <li>・低入札価格調査した業者と最下位の業者の入札金額が、2倍以上あるが、どのように捉えているか。</li> <li>・辞退が2者いるが、どのように捉えているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低入札価格調査は本学の規程に基づき、業者から調査項目に添った資料を提出してもらい、落札の可否を判断しており、ヒアリングは特に行っていません。なお、調査項目は、手持工事の状況、その価格で入札できた理由、過去の実績、経営状況、信用状況などです。 調査の結果、落札としていますが、理由は他に手持工事があり、資材を一度に大量購入できたこと、メーカー等から価格協力が得られたこと、自社社員で施工できるため経費が削減できることなどでした。 低入札価格調査の結果については公表しています。</li> <li>・工事の規模によります。2億円を超える工事が対象になります。</li> <li>・おそらく、受注意欲の違いだと思います。 また、5月の公告で大学以外でも公告が多数あり、同じ配置予定技術者で入札に何件も応募して、その中でも条件が良い工事を選んで応札していると想定しています。</li> <li>・同じ配置予定技術者で応募して、先に他工事を受注したためだと思います。受注すると、同じ配置予定技術者では入札できないためです。</li> </ul>

質問	回答
<p>【(千原)農学部校舎本館棟等照明設備改修工事】 (事務局より概要説明)</p> <p>・工事内容からは入札価格に差は出ないのではないかと 思うが、業者間の入札額に差があるのは先ほどの案件と同じ 理由か。</p> <p>・LED照明に交換する工事内容だが、決まった資材を指定 していて、業者が元々持っていたのか。また他省庁も同じ 資材なのか。</p>	<p>・工事内容は単純な照明器具の取替で、台数は約700台 です。業者間の価格の差はの大量購入による値引の差 が考えられます。</p> <p>予定価格の積算でも、照明器具などは資材業者から見 積りを徴取し、値引を考慮して算出しています。値引率も 適宜見直ししていますが、本件では業者の見積の方が安 かったです。</p> <p>低入札価格調査の結果も、手持工事があり、資材も大 量に持っているということでした。</p> <p>・省エネ工事は、他の省庁でも発注が多いですが、経済 産業省から補助金が出るため民間でも多いです。</p> <p>今、国から省エネを求められる事業者の省エネ手段とし ては、照明器具のLED化や、高効率ポンプに更新する工 事を行うことが多いです。</p> <p>LEDの照明器具の型式は殆ど一緒で、他省庁も同じも のを使っているため、大量に買っているのだと思います。</p>